

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 岩佐 恭知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 三上 仙智 (TEL) 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,977	14.9	314	569.7	175	-	348	-
29年3月期第2四半期	18,258	△18.3	47	-	△858	-	△701	-

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 715百万円(-%) 29年3月期第2四半期 △1,807百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	39.08	-
29年3月期第2四半期	△77.00	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,953	10,604	35.4
29年3月期	27,409	9,880	35.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,256百万円 29年3月期 9,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	1.5	300	4.8	200	-	100	△39.3	11.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	9,127,338株	29年3月期	9,127,338株
30年3月期2Q	206,213株	29年3月期	240,093株
30年3月期2Q	8,905,281株	29年3月期2Q	9,108,481株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の地域で自然災害によって甚大な被害が発生しましたが、全般的には個人消費の回復や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方の世界経済は、米国においては設備投資や雇用の増加が進み、また欧州においても緩やかながらも回復基調が継続しておりますが、朝鮮半島の情勢不安が続いており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは「事業の選択と捨象」「稼ぐ活動に集中」という新中期経営計画の方針を具体化させるために各事業戦略への落とし込みを徹底し、その計画に沿って実直な受注活動や改善活動を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,977百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は314百万円（前年同期比569.7%増）、経常利益は175百万円（前年同期は858百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は348百万円（前年同期は701百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、バンコク工場、ベトナム工場を中心とした海外工場での受注増加と、コイル部品の本格量産及び各工場を進めてきた業務改善による効果の影響により好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は7,311百万円（前年同期比19.6%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は157百万円（前年同期比64.7%増）、配賦後のセグメント利益は81百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

#### ・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォン需要が牽引し、関連する電子部品メーカーの生産増加に伴う部材受注が好調に推移したことと、ロボット及び工作機械向け配線板材料の受注が好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は7,290百万円（前年同期比18.9%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は343百万円（前年同期比71.6%増）、配賦後のセグメント利益は82百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

#### ・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、デジタルイメージング関連部品の受注が減少しましたが、医療機器部品において、自社企画製品の販売を開始したこと、ディスプレイ器具の需要が拡大したこと、並びにプリンター関連部品も海外拠点で受注増加したことにより好調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は3,519百万円（前年同期比2.5%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は119百万円（前年同期は76百万円のセグメント損失）、配賦後のセグメント利益は92百万円（前年同期は93百万円のセグメント損失）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器向け配管部品などの受注が増加したことにより堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,867百万円（前年同期比13.7%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は118百万円（前年同期比19.6%増）、配賦後のセグメント利益は75百万円（前年同期比183.2%増）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当該事業の業績は、アミューズメント業界向けICカード関連などが好調に推移しましたが、日邦メカトロニクス株式会社京都事業所の閉鎖による収益減少影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,155百万円（前年同期比6.9%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は121百万円（前年同期比4.4%減）、配賦後のセグメント利益は75百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて176百万円増加し14,689百万円となりました。これは現金及び預金が247百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が146百万円、受取手形及び売掛金が116百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,367百万円増加し14,263百万円となりました。これは、建設仮勘定が638百万円、土地が296百万円、建物及び構築物（純額）が151百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,543百万円増加し28,953百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて256百万円増加し12,105百万円となりました。これはリース債務が57百万円減少したものの、短期借入金が93百万円、支払手形及び買掛金が25百万円増加したことなどが主な要因となっております。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて563百万円増加し6,242百万円となりました。これは繰延税金負債が17百万円、リース債務が16百万円減少したものの、長期借入金が553百万円、退職給付に係る負債が44百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて819百万円増加し18,348百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて723百万円増加し10,604百万円となりました。これは為替換算調整勘定が155百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益348百万円を計上したことなどが主な要因となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて247百万円の減少となり4,133百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、201百万円の資金の増加（前年同期は106百万円の資金の減少）となりました。これは営業保証金の増加により353百万円、たな卸資産の増加により217百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益が383百万円となり、減価償却費により648百万円増加したことなどが主な要因となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、804百万円の資金の減少（前年同期は763百万円の資金の減少）となりました。これは投資有価証券の売却による収入により159百万円、定期預金の払戻による収入により100百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出により1,119百万円減少したことなどが主な要因となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、441百万円の資金の増加（前年同期は1,736百万円の資金の増加）となりました。これは長期借入金の返済による支出により449百万円、リース債務の返済による支出により139百万円減少したものの、長期借入れによる収入により948百万円、短期借入金の純増減額により91百万円増加したことなどが主な要因となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高39,000百万円、営業利益300百万円、経常利益200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円を見込んでおります。

これに対して、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,977百万円、営業利益は314百万円、経常利益は175百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は348百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、好調な業績を計上するに至りましたが、現時点においては、第3四半期以降も世界経済の先行きに不確定要素があり、市場動向の予測が難しいこと、並びに当連結会計年度末において退職給付債務の計算を原則法に切替える予定をしておりますことから平成29年5月12日に公表しました連結業績予想を据えおいております。

今後の動向により連結業績予想の修正が必要と判断される場合には、改めて公表を行います。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,429,954	4,182,568
受取手形及び売掛金	6,862,738	6,979,241
電子記録債権	323,984	361,969
商品及び製品	1,090,897	1,089,166
仕掛品	431,450	498,340
原材料及び貯蔵品	732,151	878,541
繰延税金資産	1,965	1,776
未収入金	522,167	541,064
その他	121,046	160,028
貸倒引当金	△3,167	△3,317
流動資産合計	14,513,190	14,689,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,621,790	8,970,065
減価償却累計額	△3,488,771	△3,685,639
建物及び構築物(純額)	5,133,019	5,284,426
機械装置及び運搬具	8,533,526	8,644,860
減価償却累計額	△5,838,556	△5,918,576
機械装置及び運搬具(純額)	2,694,969	2,726,284
工具、器具及び備品	642,101	768,370
減価償却累計額	△383,380	△467,577
工具、器具及び備品(純額)	258,721	300,792
土地	1,415,770	1,712,438
建設仮勘定	269,505	907,930
有形固定資産合計	9,771,986	10,931,872
無形固定資産		
その他	89,583	96,652
無形固定資産合計	89,583	96,652
投資その他の資産		
投資有価証券	1,961,593	1,941,195
繰延税金資産	91,274	68,523
その他	1,011,526	1,255,406
貸倒引当金	△29,973	△29,975
投資その他の資産合計	3,034,420	3,235,149
固定資産合計	12,895,990	14,263,675
資産合計	27,409,180	28,953,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,758,132	7,783,318
短期借入金	1,411,652	1,504,991
1年内返済予定の長期借入金	859,470	818,751
リース債務	247,656	189,974
未払法人税等	115,402	103,627
賞与引当金	298,920	307,489
その他	1,158,557	1,397,807
流動負債合計	11,849,792	12,105,961
固定負債		
長期借入金	3,638,430	4,191,741
リース債務	190,268	173,606
繰延税金負債	645,519	627,661
再評価に係る繰延税金負債	2,487	2,487
環境対策引当金	11,921	11,921
退職給付に係る負債	989,966	1,034,236
資産除去債務	118,174	121,795
その他	82,018	79,093
固定負債合計	5,678,785	6,242,545
負債合計	17,528,578	18,348,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	1,522,069	1,363,807
利益剰余金	4,478,315	4,984,581
自己株式	△67,005	△58,605
株主資本合計	9,071,133	9,427,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,144	236,780
土地再評価差額金	5,699	5,699
為替換算調整勘定	431,149	586,312
その他の包括利益累計額合計	616,993	828,793
非支配株主持分	192,475	348,215
純資産合計	9,880,602	10,604,546
負債純資産合計	27,409,180	28,953,053



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,258,465	20,977,009
売上原価	16,024,134	18,351,284
売上総利益	2,234,330	2,625,725
販売費及び一般管理費	2,187,327	2,310,928
営業利益	47,003	314,796
営業外収益		
受取利息	7,631	4,975
受取配当金	8,454	8,035
スクラップ売却益	15,546	15,489
その他	22,804	23,727
営業外収益合計	54,436	52,228
営業外費用		
支払利息	51,413	53,968
電子記録債権売却損	4,988	6,066
為替差損	879,161	116,141
その他	24,432	15,582
営業外費用合計	959,995	191,759
経常利益又は経常損失(△)	△858,555	175,265
特別利益		
固定資産売却益	216	58,880
投資有価証券売却益	—	150,962
その他	1,468	—
特別利益合計	1,685	209,843
特別損失		
固定資産処分損	11	757
投資有価証券売却損	—	950
その他	544	—
特別損失合計	555	1,707
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△857,426	383,400
法人税、住民税及び事業税	42,658	97,418
法人税等調整額	△73,158	12,100
法人税等合計	△30,499	109,519
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△826,926	273,881
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,594	△74,123
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△701,332	348,004

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△826,926	273,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,753	56,636
為替換算調整勘定	△1,062,315	385,023
その他の包括利益合計	△980,562	441,659
四半期包括利益	△1,807,489	715,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,635,571	559,804
非支配株主に係る四半期包括利益	△171,917	155,737

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△857,426	383,400
減価償却費	664,924	648,144
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,075	220
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	51,752	42,735
受取利息及び受取配当金	△16,085	△13,011
支払利息	51,413	53,968
支払手数料	968	1,909
為替差損益(△は益)	753,937	169,432
固定資産処分損益(△は益)	△205	△58,123
売上債権の増減額(△は増加)	△246,661	△187,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	△121,073	△217,344
仕入債務の増減額(△は減少)	△119,572	54,960
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△150,012
営業保証金の増減額(△は増加)	—	△353,935
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△103,673	△81,942
その他の流動負債の増減額(△は減少)	36,775	62,070
その他	△70,735	△4,719
小計	23,262	350,354
利息及び配当金の受取額	16,108	13,511
利息の支払額	△51,182	△52,830
法人税等の支払額	△94,909	△109,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,721	201,658
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△228	△256
定期預金の払戻による収入	105,688	100,050
有形固定資産の取得による支出	△818,843	△1,119,135
有形固定資産の売却による収入	5,985	86,664
無形固定資産の取得による支出	△21,820	△13,806
投資有価証券の取得による支出	△2,894	△3,079
投資有価証券の売却による収入	—	159,134
貸付けによる支出	△2,640	△1,560
貸付金の回収による収入	4,718	4,860
その他の支出	△37,024	△36,820
その他の収入	3,761	19,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△763,296	△804,349

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300,000	91,173
長期借入れによる収入	942,836	948,824
長期借入金の返済による支出	△363,329	△449,901
リース債務の返済による支出	△106,592	△139,634
割賦債務の返済による支出	△34,826	△16,555
自己株式の売却による収入	—	10,521
自己株式の取得による支出	△2	△6
配当金の支払額	△56	△516
その他	△1,404	△1,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,736,623	441,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	△266,984	△86,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	599,621	△247,490
現金及び現金同等物の期首残高	3,598,350	4,381,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,197,971	4,133,639

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月22日開催の定時株主総会の決議により、平成29年6月23日付で、資本準備金を158,261千円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を158,261千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,112,730	6,131,265	3,406,485	1,642,461	17,292,942	965,522	18,258,465	—	18,258,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	686	—	29,185	—	29,871	115,981	145,853	△145,853	—
計	6,113,416	6,131,265	3,435,671	1,642,461	17,322,814	1,081,504	18,404,319	△145,853	18,258,465
セグメント利益又は セグメント損失(△)	53,026	△2,819	△93,954	26,747	△16,999	69,035	52,035	△5,031	47,003

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又はセグメント損失(△)を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は392,535千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	95,345	200,176	△76,257	98,718	126,588	444,571
全社費用	42,318	202,995	17,696	71,971	57,553	392,535
セグメント利益又は セグメント損失(△)	53,026	△2,819	△93,954	26,747	69,035	52,035

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,271,757	7,290,241	3,514,969	1,867,884	19,944,852	1,032,156	20,977,009	—	20,977,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,251	—	4,741	—	43,993	123,536	167,530	△167,530	—
計	7,311,009	7,290,241	3,519,710	1,867,884	19,988,845	1,155,693	21,144,539	△167,530	20,977,009
セグメント利益	81,125	82,020	92,524	75,753	331,424	75,816	407,240	△92,444	314,796

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は452,172千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益	157,066	343,591	119,654	118,066	121,033	859,413
全社費用	75,941	261,571	27,130	42,312	45,217	452,172
セグメント利益	81,125	82,020	92,524	75,753	75,816	407,240

(重要な後発事象)

該当事項はありません。